新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備えて

ワクチン接種を希望する人は早めの予約を。医療ひっ迫に備え自宅療養の準備もお願いします

市は、新型コロナウイルスのワクチン接種を実施しています。希望する人は早めに予約してください。また、高齢者などを対象に、インフルエンザの予防接種費用を助成しています。新型コロナとインフルエンザの同時流行を防ぐため、助成期間を1月31日まで延長します。

今回号では、ワクチン接種や、同時流行への備えなどについてお知らせします。問い合わせは、新型コロナのワクチン接種については高崎市コロナワクチン問合せ電話（☎027・395・7300）へ、インフルエンザの予防接種や同時流行への備えなどについては保健予防課（☎027・381・6112）へ。

市は、新型コロナウイルスのワクチン接種を行っています。現在の国の方針により、3月末まで無料接種を継続します。希望する人は早めに予約してください。

12歳以上の人の接種

3回目以降は前回から3か月たてば接種可能

12歳以上の人の3回目以降の接種は、従来株とオミクロン株の両方に対応した「オミクロン株対応ワクチン」を使用します。国によると、従来型ワクチンを上回る重症化予防効果と、短期的である可能性はあるものの、オミクロン株に対する感染・発症予防効果が期待されています。

オミクロン株対応ワクチンは、前回の接種から3か月経過すれば接種可能です。接種は、現時点では1人1回となっています（12月22日現在）。

接種券は受けられる時期に合わせて発送します

接種券が届いている人は、お手元の接種券がそのまま使えます。新たに接種の対象となる人には、受けられる時期に合わせて接種券を発送します。接種は、市内約200か所の病院や診療所での個別接種と、市役所など市内7か所での集団接種で受けられます。

子どもの接種

小児用・乳幼児用のワクチンで実施しています

5～11歳の子どもは、小児用ワクチンを使用します。2回目の接種は1回目の3週間後から、3回目の接種は2回目の5か月後から受けられます。

6か月～4歳の子どもは、乳幼児用ワクチンを使用します。2回目の接種は1回目の3週間後から、3回目の接種は2回目の8週間後から受けられます。

いずれも、接種は市内の病院や診療所での個別接種で実施します。対象となる人には、順次接種券を発送しています。

障害のある人

新型コロナのワクチン接種ばるーんで相談を受け付け

手話通訳が必要な人や障害のある人は、障害者支援SOSセンター・ばるーん（市総合保健センター2階。火～日曜日☎027・325・0111）で、ワクチン接種に関する相談ができます。ファクス（FAX027・325・0112）などでも受け付けます。

新型コロナのワクチン接種
最新情報は市ホームページへ

2023. 1. 1 (6)

新型コロナウイルスのワクチン接種

接種の予約はインターネットが便利です

予約はインターネットと電話で受け付けます。インターネットでは、24時間予約を受け付けています。

◀インターネットでの予約方法を動画で見られます

インターネットは専用ホームページへ
24時間受け付け

電話は予約電話へ
☎0120-08-5670
月～金曜日、午前9時～午後6時

高齢者や60歳以上で障害のある人へ　同時流行に備えて　問 保健予防課予防接種担当（☎027-395-6155）

インフルエンザ予防接種の助成期間を1月31日まで延長

市は、高齢者などを対象に、インフルエンザの予防接種費用を助成しています。新型コロナとの同時流行を防ぐため、今年度の助成期間を1月31日㈫まで延長します。

●対象＝令和4年12月31日時点で次のいずれかに当てはまる人①65歳以上②60～64歳で心臓や腎臓、呼吸器、免疫機能の障害が1級か、同程度の障害があると判断される　●自己負担額＝1,500円（1回だけ。生活保護や中国残留邦人の支援を受けている人は無料）●持ってくる物＝健康づくり受診券、健康保険証、身体障害者手帳（60～64歳で身体障害者手帳を持っている人だけ）

全ての市民の皆さんへ

一人一人の予防と備えをお願いします

引き続き感染予防の徹底を

感染拡大や流行を防ぐためには、一人一人の感染予防が大切です。ワクチン接種の有無にかかわらず、マスクの着用や定期的な換気、手洗い・手指消毒、人との間隔を空けるなど、引き続き対策をお願いします。

また、日頃から体温や健康状態をチェックするなど、体調管理を心がけてください。

医療のひっ迫に備え、自宅療養ができる準備を

感染拡大やインフルエンザとの同時流行が起こると、医療がひっ迫する恐れがあります。自宅療養に必要な下記の物を準備しておいてください。詳しくは、市（下記）と県のホームページで確認できます。

●体温計　●薬局などで購入できる抗原検査キット（医療用か一般用）●常備薬や解熱鎮痛剤　●食料品（5～7日分）

発熱など感染の心配のある時は

喉の痛みやせき、発熱など気になる症状がある人は、かかりつけ医に相談してください。

どこを受診したら良いか分からない人は…

かかりつけ医がないなど、どこを受診したら良いか分からない人は、診療・検査を行う病院や診療所を市と県のホームページで確認してください。また、下記の相談窓口では、相談の他、診療できる医療機関を案内します。

●**市受診・相談センター**（☎027-381-6112）
月～金曜日、午前8時30分～午後5時15分
（開設時間以外は県受診・相談センターへ）

●**県受診・相談センター**（☎0570-082-820）
24時間

●**発熱者外来予約専用電話**（☎027-381-6000）
土・日曜日、祝日、午前9時30分～正午

県ホームページの「診療検査外来一覧」で、熱のある人などの診療・検査を行う医療機関の最新の一覧が見られます

新型コロナウイルス陽性となった人へ

陽性者の全数届け出について、国により見直しが行われました。詳しくは、市ホームページ（左記）を確認してください

新型コロナウイルスのワクチンについて疑問のある人へ

厚生労働省のホームページ（右記）で、新型コロナウイルスのワクチン接種の効果など、ワクチンについてのQ&Aが見られます